



院長 池原 康一

『なんくるないさ』を考える

本職に就いてから、経営について勉強する機会が増えたり、経営に関する本を読むようになりました。とはいえ、私は医師であり、経営の数字を読むことは不得手です。私が大切にしているのは「経営哲学」です。よって必然的に先人の偉大な経営者について書かれた本を読むことが多くなります。

そうした中、先日「人事を尽して天命を待つ」という言葉に出会いました。沖縄にもよく似た言葉があることを思い出しました。それは「なんくるないさ」です。近年はこの言葉だけが独り歩きしておりますが、本来は「まくとろそけー、なんくるないさ」ですよね。物事に対して、真摯に取り組み、全力を尽したならば、結果はそれに見合っついてくる。その結果を受け入れればよいという意味でしょうか。決して楽観的に使われる言葉ではなくもっと奥の深い言葉ですね。私たちは沖縄の先人たちが行ってきた「なんくるないさ」を「どうにかなるさ」と楽観的に、もっと悪く言えばやけっぱちに使うことが多いのではないのでしょうか。私自身は「なんくるないさ」を「人事を尽して、どうにかする」と解釈したい。

離島研修終了（おつかれさまでした！）



おおしろ まさと
大城 允人

南部徳洲会病院
期間：4月・5月

Q 期間中に経験したこと
A 離島へ来て初めて外来担当をすることになり、今までの救急医療ばかりを学んできた研修と一味違う経験をすることができました。

Q 今後について
A 離島で学んだことを生かして、日々努力して立派な小児科医になりたいと思います。

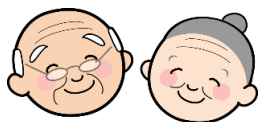
Q 石垣島の思い出
A 日々充実した私生活を送ることができました。特に食事が美味しく体重が増えた。

思い出のアルバム



「おでかけ健康講座」受付中です **無料**

6月の誕生会
通所リハビリテーション



今回は「月桃花」（さみんばな）様をお迎えて6月生まれ5名の誕生会を行いました。八重山民謡や沖縄民謡を中心に三線と琉球横笛に美しい歌声を披露していただきました。誕生者を初め当日の利用者とスタッフも一緒に歌い・踊り・笑い・拍手したりと楽しい誕生会となりました。

「さみんばな」様は今年3月以来2度目の出演となりましたが、毎回、皆が馴れ親しんできた曲をチョイスして大いに盛り上げて頂いています。

次回は9月の「敬老会」への出演を期待してお待ちしています！また、華やかしに来てほしいと思います。ありがとうございました。6月生まれの皆さん「おめでとうございます」これからのご長寿を祈願しております。

